

最低限！働くことのきまり

～アルバイトと契約～

ねらい：「働くこと」が契約に基づくものであることと、「労働契約」の特殊性を理解させる

授業スタイル	グループでの話し合い+説明
扱うことが適切な教科等	公民科[労働問題、労働者の権利、市民生活と法、等]
どのタイミングで扱うか	教科での場合、適切な時期に アルバイトをしている生徒が多い学校で、随時
配当時間数	1時限(50分を想定)
この授業で身につけて欲しい力	グループで話し合っって考えを深めたり、考えを一つにまとめたりする力
この授業で理解させたいこと、気づかせたいこと、身につけて欲しい知識等	<ul style="list-style-type: none"> ・契約における権利義務 ・契約自由の原則と、その一方での労働者を保護するための規定・制度の意義やその両者の関係
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> ①導入：「アルバイトのプラス面・マイナス面」 ②テーマの提示と前提の説明：アルバイトも労働契約に基づくものであるということ ③説明：契約の原則とアルバイト <ul style="list-style-type: none"> ・契約の「双務性」、契約自由の原則 →アルバイトにあてはめて考えさせる ④話し合い：働くルール(働くことの権利義務) ⑤確認、発展的学習と説明：労働契約の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・実際の働く「契約」、契約自由の原則、労働者保護の必要性 ⑥まとめと振り返り
使用する教材等(読み物、ワークシート、動画、ウェブサイト等)	<ul style="list-style-type: none"> ・添付のワークシート ・別添の「労働法説明資料A・B」 ・労働基準監督官と労働基準監督署に関する動画 ・厚生労働省作成リーフレット「アルバイトを始める前に知っておきたい 7 つのポイント」と裏面のアルバイト用モデル労働条件通知書 ・厚生労働省作成リーフレット「高校生アルバイトのトラブルQ&A(知っておきたい働くときのポイント)」 ・厚生労働省「知って役立つ労働法」、「まんが知って役立つ労働法Q&A」
協働する外部人材等	労働法や労働契約に詳しい者(必須ではない)
協働の際のこの授業案に特徴的な留意点等	特になし
学習の評価の方法の例	ワークシートと振り返りシートによる
この授業案からの発展的な学習の可能性について	<ul style="list-style-type: none"> ・11. 知って欲しい!あなたの「働く」を守るもの～「労働条件通知書」を作ってみよう!～ ・契約自由の原則、労働者保護についてその沿革等を考える学習 ・営業することに関するきまりなどを考える学習(営業の自由と規制等) ・厚生労働省作成の冊子やそのウェブサイト上で学べる教材オンライン学習ツールによる個別学習又は集団学習

授業の流れ

※時間はあくまで目安です

時間(所要)	進行	内容	留意点・備考
0:00 (5分)	導入	○授業者が生徒に問いかけ、クラスで意見を出し合わせる 「アルバイトをしてのプラス面・マイナス面」	生徒をグループに分けておく
0:05 (5分)	テーマの提示と前提の説明	○アルバイトも労働契約に基づくものだということ ・契約とはそもそもどういうことか、日常の契約から考える ・お互いが何かをするということの約束 例：売買契約、賃貸借契約等での例示	
0:10 (5分)	説明	○契約の原則とアルバイト ・売買契約における物やサービスとお金の交換から、契約における権利義務(契約の双務性：お互いに何かすることを約束すること)を理解させる ・契約自由の原則(基本的にはお互いに合意すれば契約が成立すること)について理解させる ・アルバイトにあてはめて考えさせる(労務の提供とアルバイト代との関係)＝「お金が稼げること、労力や時間を提供すること」	ワークシートを配布し説明に用いる
0:15 (15分)	話し合い	○グループでの話し合い ・生徒への問いかけ「アルバイトする側がしなくてはならないことと、雇う側(社長・店長・上司など)がアルバイトする人に対してしなければならないことは何だろうか？」 ・契約当事者はお互いに守らなければならない契約上のルールがあることを、具体的に考えさせる ※必要に応じ授業者から生徒に、話し合いのための視点と例を提示する →アルバイト側：お金をもらう代わりにしなければならないことは？ (例)決めたとおりの時間に求められた仕事をきちんとすること、職場のルールを守ること、礼儀やマナー、等 →雇う側：働く側が困らないようにすること (例)アルバイト代をきちんと払うこと、働かせすぎないこと、職場を清潔・安全に保つこと、学業への配慮、等	
0:30 (15分)	確認的学習、発展的学習と説明	○実際の働く「契約」はどうなっているかについて確認させる ・『知って役立つ労働法』の「就業規則を知っていますか」の項、又は厚生労働省作成リーフレット内のモデル労働条件通知書で確認 ○契約自由の原則を前提に、労働者保護の必要性について考えさせる ・厚生労働省作成のリーフレットを紹介しつつ問いを提示する「なぜ国は税金をかけてわざわざこのようなリーフレットなどを作成・配布しているのだろうか？」(ペアで話し合わせる) ※想定する答えとしては、 →契約を守らない使用者がいるから →働く人に不利な契約をしようとする使用者がいるから、等 ・契約自由の原則の一方で、労働者を保護する法律と制度がある意味を簡単に説明 ・労働者保護のための法律や制度の紹介 ○最後に労働基準監督官と労働基準監督署に関する動画を見せる	・『知って役立つ労働法』や「アルバイト用モデル労働条件通知書」等を用意 ・添付の「労働法説明資料A・B」を用いるとよい ・ネット環境を用意 ※動画については詳しくはP18参照のこと
0:45 (5分)	まとめと振り返り	○振り返りシート等を用いて生徒に行わせる ・今日の授業で学んだことや感想	・振り返りシートの配布 ・各自記述して提出

1章

2章

3章

2

4章

5章

6章

7章

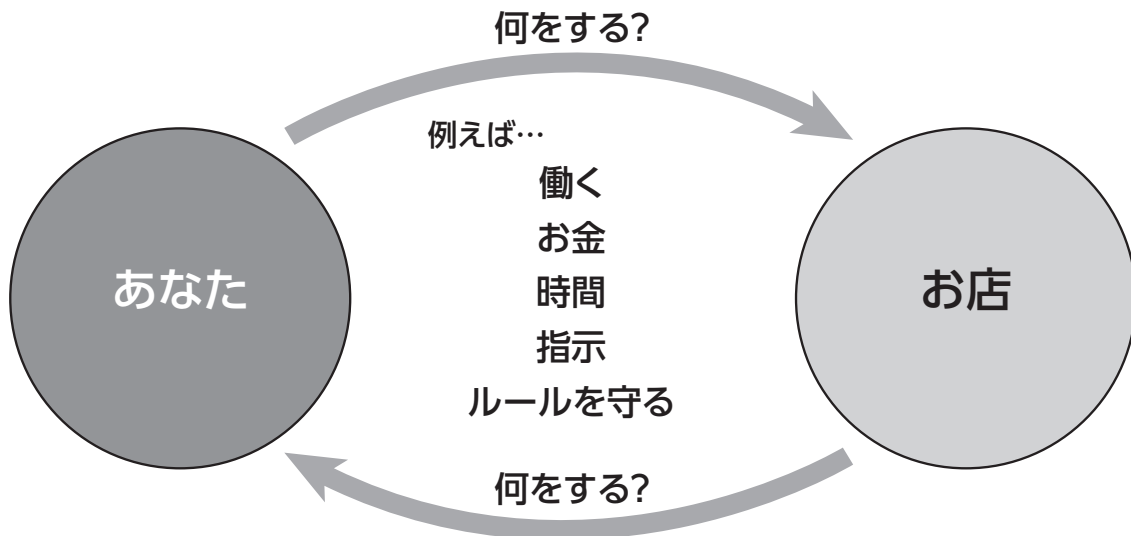
8章

ワークシート

年 月 日 年 組 名前：

“アルバイト”をしてのプラス面とマイナス面

プラス面 アルバイトをしてよかったこと、いいところなど	マイナス面 アルバイトをしてよくなかったこと、いやなことなど



Q. 働く側（アルバイト）と雇う側（社長、店長、上司など）が、相手方に対してしなければならないことは何だろう？（上の図も参考に）

振り返りシート

1. 今日の授業で何が印象に残りましたか？

2. あなたが「アルバイトに関する契約」について新しく学んだのは何でしたか？

3. 今日の授業を受けてみて、「さらにコレを知りたい！」と思ったことはありますか？

4. 今日の授業について感想を自由に書いてください。

年 月 日 年 組 名前：